

## 研究・調査報告書

| 分類番号  | 報告書番号  | 担当                  |
|---|--------|---------------------|
| A-141   | 14-057 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| <b>題名 (原題/訳)</b>  |        |                     |
| Mortality and life expectancy of people with alcohol use disorder in Denmark, Finland and Sweden.<br>デンマーク、フィンランド、スウェーデンのアルコール使用障害者の死亡率と平均余命  |        |                     |
| <b>執筆者</b>  |        |                     |
| Westman J, Wahlbeck K, Laursen TM, Gissler M, Nordentoft M, Hällgren J, Arffman M, Osby U.  |        |                     |
| <b>掲載誌</b>  |        |                     |
| Acta Psychiatr Scand. 2014 Sep 20. doi: 10.1111/acps.12330.   |        |                     |
| <b>キーワード</b>  |        | <b>PMID</b>         |
| スカンジナビア、アルコール使用障害、疫学、死亡率  |        | 25243359            |
| <b>要 旨</b>  |        |                     |
| <b>目的</b><br>デンマーク、フィンランド、スウェーデンのアルコール使用障害者の死亡率と平均余命との関係を検討した。  |        |                     |
| <b>方法</b><br>上記 3 国で 1987 年～2006 年に一次あるいは二次診断にてアルコール使用障害と診断されたすべての入院患者について追跡を行った。   |        |                     |
| <b>結果</b><br>追跡人年は 1,158,486 人年であった。一般住民に比べて、アルコール使用障害者では平均余命が 24～28 年短かった。1987 年～2006 年の間にアルコール使用障害者と一般住民の男性の平均余命の差は増加した(デンマーク 1.8 年、フィンランド 2.6 年、スウェーデン 1.0 年)。女性の平均余命の差はデンマークでは増加(0.3 年)したが、フィンランド(0.8 年)とスウェーデン(1.8 年)では減少した。一般住民と比較したアルコール使用障害者の死亡率は、全死因(死亡率比(一般住民を基準) 3.0～5.2)、疾病による死亡(2.3～4.8)、自殺(9.3～35.9)のいずれでも上昇していた。 |        |                     |
| <b>結論</b><br>アルコール使用障害者で入院した人の平均余命は男性で 47～53 歳、女性で 50～58 歳であり、一般住民と比較して 24～28 歳早く死亡することがわかった。   |        |                     |